

肉体の門 (1988)

メディア 映画

ジャンル ドラマ エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 119分

初公開日 1988/04/09

【解説】

田村泰次郎による同名小説の5度目の映画化。脚本は「吉原炎上」で脚本構成を担った笠原和夫が担当。監督は五社英雄、撮影は森田富士郎が務めた。太平洋戦争終戦後の占領下にある東京を舞台に、娼婦として生きるエネルギッシュな女たちを描く。

終戦から2年経った昭和22年の秋、浅田せんをはじめとするパンパンの女たちが新橋界隈でグループ「関東一家」を形成していた。せんのライバルお澄率いるグループや、闇市のボスであるやくざの袴田組との確執など、争いは絶えない。復員兵の伊吹との出会いや一家の町子の裏切り、米兵に復讐を誓うお澄との関わり。それぞれに戦後を歩いていく彼女たちの行く先とは…。

【クレジット】

監督	五社英雄
企画	日下部五朗
	佐藤雅夫
プロデューサー	厨子稔雄
	天野和人
原作	田村泰次郎 「肉体の門」
脚本	笠原和夫
撮影	森田富士郎
美術	西岡善信
	今井高端
	石原隆
編集	市田勇
音楽	泉盛望文
助監督	鈴木秀雄
出演	かたせ梨乃
	名取裕子
	山咲千里
	松居一代
	加納みゆき
	渡瀬恒彦
	根津甚八